

令和8年度

橋梁長期保全事業

橋梁等維持業務

仕様書

施工場所 東広島市内一円

特記仕様書

本委託の履行にあたっては、別に定める追加仕様事項のほか、広島県制定「土木工事共通仕様書（令和7年8月）」に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- 1 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替えるものとする。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- 2 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- 3 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- 4 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- 5 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- 6 その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	1	27	週休二日の対応		適用しない。
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	8	工事の一時中止		適用しない。
1	1	2	9	設計図書の変更		適用しない。
1	1	2	10	工期変更		適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者 又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリース タンス）の実施		適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

7 契約代金の支払

- (1) 本委託は、前払金の請求をすることができないものとする。

本委託は、前払金の保証がないため、一般管理費等率の補正の対象外（補正を行わない）とする。

8 部分払い

- (1) 本委託は、部分払金を次のとおり請求できるものとする。

令和 8 年度 2回以内とする。

- (2) 部分払金を請求しようとするときは、請求しようとする日の前月期までの履行報告（本追加仕様事項3の（7）による。）を行っていないなければならないものとする。

なお、出来高の結果により、契約変更を行う必要がある場合は、変更契約を締結するため、その期間として、30日間を見込んでいるものとし（変更設計書作成及び変更契約事務の処理日数並びに変更契約締結日を含む。）受注者は、変更契約締結をした後に、当該請求に係る履行部分の検査を請求するものとする。

9 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本業務は、作業現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う業務である。

- (2) 作業期間（契約日の翌日から令和9年2月28日までの期間）中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間作業のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。

- (4) 気温の計測箇所及び結果は、作業現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

- (5) 受注者は、作業期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を業務着手前に提出し、計測結果を業務完成時までに監督職員に提出すること。

- (6) 受注者は、計測終了日について、業務完成時までに監督職員と協議するものとする。

- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝作業期間中の真夏日÷作業期間

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う業務から対象外とすることができる。

- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

10 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

3 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

4 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

5 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

6 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

7 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

8 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

9 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

10 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

11 建設発生土の最終処分先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

1.1 法定外の労災保険の付保

- (1) 本業務において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- (2) 受注者は、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

追 加 仕 様 事 項

1 委託の目的

本委託は、東広島市が管理する橋梁において、安全な交通環境の確保及び橋梁の長期保全における維持等のため、作業期間内を通して、定期的に必要となる橋梁等の維持修繕を行うものである。

工区名	区域名
東広島市内一円	西条町、八本松町、志和町、高屋町、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町

2 委託の期間

本委託の履行期間は、契約日の翌日から令和9年3月19日までとする。

本委託の作業期間は、契約日の翌日から令和9年2月28日までとする。

ただし、履行期間の中途においても、変更契約額が、当初契約額を相当上回る場合には、作業期間を短縮し、委託業務を完了するものとする。

3 一般的事項

(1) 主任技術者及び業務責任者

- ・受注者は本業務の履行にあたり、建設業法第26条に規定する主任技術者を配置すること。

(様式-1)

- ・主任技術者は、直接的な雇用関係（所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在すること）を有していること。

- ・主任技術者は、業務責任者と兼ねることができる。

- ・業務責任者の専任性・常駐等については、「技術者等の適正配置について」の2(3) 現場代理人の専任性・常駐等についてに準ずるものとする。

(2) 委託内容

①橋梁補修工

- ・作業は、監督職員と現地説明等を行った後に行うものとし、施工条件に変更が生じた場合は、事前に監督職員と協議するものとする。

なお、作業完了までに期間を要する場合は、工事看板を掲示し着手すること。

②橋梁等補修業務伴うコンクリート殻等の処分について

- ・コンクリート塊、アスファルト塊の搬出先は、(有)トラスト（運搬距離7.9km）

を見込んでいるが、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

- ・草木類については、広島中央エコパークに搬入するものとする。

③交通誘導警備員

道路上での作業は原則として交通誘導警備員を配置し、一般交通の安全確保に努めるものとする。なお、交通誘導員は13人を見込んでいるが、必要に応じて事前に監督職員と協議を行うものとし、設計変更の対象とする。

(3) 施工計画

本委託の実施にあたっては、次の事項を記載のうえ施工計画書を提出するものとする。

- (1) 工事概要
- (2) 現場組織表
- (3) 安全管理
- (4) 緊急時の体制及び対応
- (5) 再生資源利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- (6) 安全・訓練の活動内容

また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には追記するものとする。

なお、使用する資材の材料承認及び品質証明について、監督職員が求めた場合は提出するものとする。

(4) 施工体制

施工期限に遅延を生じないように、協力会社(受注者が施工できない場合に再委託で業務を施工する者をいう。)を指定(土木、舗装、とびは必須)することができる。協力会社は、東広島市内に主たる営業所かつ本店を有する者とする。ただし、舗装工事については、東広島市内に営業所を有する者を可能とする。なお、指定したすべての協力会社については、事前に業務打合せ簿を提出し、承諾を得るものとする。これらに反する場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

(5) 橋梁等修繕指示書

実施業務については、監督職員から修繕指示書(様式-2)で通知するものとする。

(6) 履行報告(修繕報告)

月毎の履行状況を、翌月の7日までに必要な竣工図及び数量計算書等を添付のうえ、業務打合せ簿に指示番号を記載して報告するものとする。

(7) 委託内容の変更

本委託の各内訳書及び明細書の数量は、見込み数量であるので、実績に応じて変更するものとする。また、本委託にない工種が必要な場合には、監督職員と協議し委託内容を変更するものとする。

(8) 完了(出来形)検査請求書

受注者は、委託業務が完了したとき又は部分払を請求しようとするときは、検査請求書(様式-3)を提出するものとする。

(9) 道路の使用

本委託の実施にあたっては、道路交通法第80条の規定に基づく協議の回答条件を遵守するとともに、一般交通及び沿道住民に迷惑をかけないように十分留意するものとする。

4 その他

(1) 疑義の解決等

本書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けるものとする。

(2) 施工時期について

補修橋梁の場所によっては、漁協等との調整が必要箇所がある。

協議によっては、出水期または遊漁期を除いた期間での施工しか難しい場所もあるため、十分に留意するものとする。

業務責任者及び主任技術者指名（変更）届

令和 年 月 日

東 広 島 市 長 様

(受注者) 住所
氏名

下記のとおり指名（変更）しましたのでお届けします。

記

1 業務名

業 務 名	
業 務 場 所	
契 約 年 月 日	
履 行 期 間	
業 務 委 託 料	

2 業務責任者

氏 名 （ 生 年 月 日 ）	
業務責任者の委任除外権限	

3 主任技術者

氏 名 （ 生 年 月 日 ）	資 格	登録番号又は資格者証番号

- (注) 1 請負人との雇用関係が確認できるもの（健康保険証の写し等）を添付すること。
- 2 資格欄には、建設業法第7条第2号イ、ロ及びハ並びに第15条第2号イ、ロ及びハのうち該当するものを記入するとともに、当該工事に必要となる資格者証等を添付すること。
(実務経験者の場合は、実務経歴書を添付すること。)
- 3 記載事項に変更が生じた場合は、速やかに再提出すること。ただし、「1 業務名」欄における記載事項の変更については、再提出を不要とする。

橋梁等修繕指示書 (FAX送信表)

(様式-2)

No.	
-----	--

※対応時期

- ☐ 緊急(直ちに対応すること)
☐ 一般(速やかに対応すること)

台帳種別		No.	

【 1回目施工期限: 月 日までに 】 1回目: 令和 年 月 日
【 2回目施工期限: 月 日までに 】 2回目: 令和 年 月 日
【 3回目施工期限: 月 日までに 】 3回目: 令和 年 月 日

受注者

様

TEL
FAX

発注者 東 広 島 市 長
(建設部 維持課)

橋 梁 名 :
指 示 場 所 :

付近

(指示事項)	市担当者																												
・現地立会: ☐ 有 ☐ 無 ・事前見積: ☐ 要 ☐ 不要 ・添付書類: ☐ 位置図 ☐ 内訳書 ☐ 構造図 ☐ その他() ・注意事項:																													
☐ 橋梁等維持修繕工 <table><tr><td>☐ 倒木撤去</td><td>_____</td><td>箇所 ()</td></tr><tr><td>☐ 断面補修工</td><td>_____</td><td>箇所 ()</td></tr><tr><td>☐ 舗装修繕工</td><td>_____</td><td>m2 ()</td></tr><tr><td>☐ 底張工</td><td>_____</td><td>箇所 ()</td></tr><tr><td>☐ 床版補修工</td><td>_____</td><td>箇所 ()</td></tr><tr><td>☐ 塗替塗装工</td><td>_____</td><td>箇所 ()</td></tr><tr><td>☐ ひび割れ補修</td><td>_____</td><td>m ()</td></tr><tr><td>☐ 主桁補修工</td><td>_____</td><td>箇所 ()</td></tr><tr><td>☐ その他</td><td>_____</td><td>箇所 ()</td></tr></table>			☐ 倒木撤去	_____	箇所 ()	☐ 断面補修工	_____	箇所 ()	☐ 舗装修繕工	_____	m2 ()	☐ 底張工	_____	箇所 ()	☐ 床版補修工	_____	箇所 ()	☐ 塗替塗装工	_____	箇所 ()	☐ ひび割れ補修	_____	m ()	☐ 主桁補修工	_____	箇所 ()	☐ その他	_____	箇所 ()
☐ 倒木撤去	_____	箇所 ()																											
☐ 断面補修工	_____	箇所 ()																											
☐ 舗装修繕工	_____	m2 ()																											
☐ 底張工	_____	箇所 ()																											
☐ 床版補修工	_____	箇所 ()																											
☐ 塗替塗装工	_____	箇所 ()																											
☐ ひび割れ補修	_____	m ()																											
☐ 主桁補修工	_____	箇所 ()																											
☐ その他	_____	箇所 ()																											
特記事項 : 指示を受けたら、必ず現場担当者・施工予定日を記入しFAX返信のうえ、現地調査を行い、必ず監督職員と協議後に施工すること。 止む得ない理由により施工期限までに施工着手できない場合は、「理由」を添えて、施工予定日を監督職員にFAX返信し、必ず確認を受けること。 修繕完了後は、毎月、実施報告書を作成し、翌月の7日までに監督職員に報告すること。																													

総括監督員	主任監督員	監督員	現場担当者名	業務責任者
			連絡先	

	施工予定日	施工期限日・施工予定日変更理由
1回目	令和 年 月 日	
2回目	令和 年 月 日	
3回目	令和 年 月 日	

完了（出来形）検査請求書

令和 年 月 日

東 広 島 市 長 様

（ 受 注 者 ）

1 業 務 名

2 業 務 場 所

3 業 務 委 託 料

4 履 行 期 間 自 令和 年 月 日
 至 令和 年 月 日

5 検 査 の 範 囲 令和 年 月末時点

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
舗装打換え工		式		1	レベル3
表層	1層当り平均仕上厚30mm	m2		150	レベル4
橋梁補修工		式		1	レベル2
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
充てん工法	補修延べ延長25m	構造物		1	レベル4
低圧注入工法	補修延べ延長100m	構造物		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	修復延べ体積1m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 無】	構造物		1	レベル4
左官工法	修復延べ体積1m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有】	構造物		1	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		150	レベル4
石積取壊し	石積橋台	m3		10	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
殻運搬	舗装版破碎	m3		10	レベル4
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3		10	レベル4
殻処分	As殻	t		6	レベル4
殻処分	Co殻（無筋）	t		24	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		13	レベル4
※※直接工事費※※					
共通仮設費率分					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費					
※※工事原価※※					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※					

工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

参 考 図 書

工 事 名 称 : 令和8年度 橋梁長期保全事業
橋梁等維持業務

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。

- 3 その他

・当該業務により発生するCo殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている
施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
As塊	(有)トラスト	東広島市西条町 上三永348-14	7.9
Co塊(無筋)	(有)トラスト	東広島市西条町 上三永348-14	7.9

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-08.05.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
表層 1層当り平均仕上厚30mm	1	式			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	150	m2			SPK25040244 00
橋梁補修工	150	m2			単第0 -0001 表 Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
充てん工法 補修延べ延長25m	1	式			Y1G03240401 レベル4
	1	構造物			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長25m	1	構造物			S1020033 00 単第0 -0002 表
低圧注入工法 補修延べ延長100m	1	構造物			Y1G03240402レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長100m	1	構造物			S1020037 00 単第0 -0003 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 修復延べ体積1m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 無】	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積1m3	1	構造物			S1020045 00 単第0 -0004 表
左官工法 修復延べ体積1m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有】	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積1m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0005 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	50	m			Y1G03270602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	50	m			SPK25040307 00 単第0 -0006 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	150	m2			Y1G03270603レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	150	m2			SPK25040306 00 単第0 -0007 表
石積取壊し 石積橋台	10	m3			Y1G03270604レベル4
積込(コンクリート殻)	10	m3			SPK25040113 00 単第0 -0008 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 舗装版破碎	10	m3			Y1G03271601レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離11.5km以下(6.5km超)	10	m3			SPK25040155 00 単第0 -0009 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし	10	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	10	m3			SPK25040155 00 単第0 -0010 表
殻処分 As殻	6	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻 (有)トラスト	6	t			F0000001600 00
殻処分 Co殻(無筋)	24	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co殻(無筋) (有)トラスト	24	t			F0000001700 00

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	13	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	13	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					
純工事費					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

頁0 -0008

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0001 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.45% 労務構成比:

45.70%

材料構成比: 53.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,805.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.25%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.14%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	52.05%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.57%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

頁0 -0009

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0001 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

標準単価:

1m2

当り

機械構成比: 0.45%

労務構成比: 45.70%

材料構成比: 53.85%

市場単価構成比: 0.00%

2,805.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=6 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(20) -(全ての費用)		B=30 E=1 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

ひび割れ補修工(充てん工法)
補修延べ延長25m

S1020033

単第0 -0002 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.075	人			
特殊作業員	1.625	人			
普通作業員	1.425	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用（コテ塗）	5.880	m3			
諸雑費	17	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=25 C=4.9 1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 充てん材の設計数量(kg/構造物)			B=100	【F】 充てん材(kg)	

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長100m

S1020037

単第0 -0003 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	5.800	人			
特殊作業員	9.600	人			
普通作業員	7.100	人			
ひび割れ注入材 超微粒子セメント系 アーマ#600	5.600	kg			
ひび割れシール材 エポキシ樹脂系 アサヒボンド505	32.880	kg			
低圧注入器	400.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=100 C=5.6 E=24 G=400	1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		B=700 D=800 F=900	【F】注入材(kg) 【F】シール材(kg) 【F】低圧注入器具(個)	

施工単価表

頁0 -0012

断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020045

單第0 -0004 表

1

構造物 当り

[illegible]

施工単価表

断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)		S1020041		単第0 -0005 表		1		構造物 当り	
修復延べ体積1m3		数量		単位		単価		金額	
名称・規格など		備考							
土木一般世話役		28.000		人					
特殊作業員		53.000		人					
普通作業員		28.000		人					
ポリマーセメントモルタル 左官工法用 (コテ塗)		1.180		m3					
諸雑費		8		%				#09	
*** 単位当たり ***		1		構造物					
A=1 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=1 断面修復材の設計数量(m3/構造物)				B=100 【F】 断面修復材(m3)					

施工単価表

頁0 -0014

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 15.05% 労務構成比: 58.43% 材料構成比: 26.52% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040307
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0006 表
標準単価: 1 m 700.44000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0015

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0006 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 12.85% 労務構成比: 81.24% 材料構成比: 5.91% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040306 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0007 表

1 m2 当り
標準単価: 217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

積込(コンクリート殻)

SPK25040113

単第0 -0008 表

機械構成比: 9.24% 労務構成比: 86.65% 材料構成比: 4.11% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,299.40000 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	9.24%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
普通作業員	78.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	8.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.05%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離11.5km以下(6.5km超)
労務構成比: 39.87%

単第0 -0009 表
材料構成比: 16.08%

標準単価: 1
3,615.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=46 運搬距離11.5km以下(6.5km超)		

施工単価表

頁0 -0019

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)
労務構成比: 44.82%

単第0 -0010 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:
m3 当り
1,527.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		